

24期日本学術会議地球惑星科学委員会(第24期第1回)

日時：2017年10月4日(水)10時から12時

場所：日本学術会議 2階特別室

出席者：藤井、木村、高橋、田近、中村、春山(6名)

議事録案

1) 第24期地球惑星科学委員会委員長・幹事等の決定

資料1に基づき地球惑星科学委員会世話人により説明を行い、委員長 藤井良一、副委員長 田近英一、幹事 木村学、春山成子を選出した。

2) 分科会の世話人の決定

資料2に基づき地球惑星科学委員会の分科会について

- 1 地球・惑星圏分科会 田近英一
- 2 地球・人間圏分科会 春山成子
- 3 社会貢献分科会 高橋桂子
- 4 人材育成分科会 木村学
- 5 国際連携分科会 中村尚
- 6 企画分科会 藤井良一

の分科会を立ち上げ、それぞれの分科会の世話人を決定した。

なお、各分科会の設置提案書、分科会の前期からの継続メンバーを初期のコアメンバー候補とし、候補者の了承をとって、委員名簿を作成し、書類を10月の幹事会に間にあうように、10月15日までに藤井委員長あてに送付するように依頼することとした。なお、その後に連携会員全員に2で述べるように分科会紹介と参加の呼びかけを行い、必要な委員追加を11月以降の幹事会に掛けて行くこと、小委員会の設置については分科会設置後に行うことを確認した。

3) 第175総会中に至急設置する分科会の承認について

期首に設置の必要な分科会として資料4に基づき委員長が説明を行い、

- 1 地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同分科会として地理教育分科会
- 2 基礎生物学委員会・統合生物学委員会・地球惑星科学委員会合同分科会として自然史・古生物学分科会
- 3 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同分科会として FE・WCRP分科会

の3分科会設置を承認した。

4) 連携会員説明会について

11月2日の午前中に開催予定の連携会員向け説明会において、地球惑星科学委員会のもとに設置予定の分科会についての説明を藤井委員長が行うこととしたが、代理が必要な場合には田近副委員長がその任に当たることを確認した。

5) 日本学術会議会則第27条第2項の取り扱いについて

資料6ならびに資料7に基づき、地球惑星科学委員会では資料6に記載されている前期に承認された文言を今期も継続することを決定した

6) その他

1 地球惑星科学委員会のもとに設置する国際関連分科会の見直しについて意見交換を行い、外部評価委員会からの分科会組織スリム化の勧告に対応した学術会議の方向性に基づき、河野会員時代に決められた「ICSUのUnionに対応する委員会は分科会とする」という方針を見直して、より機能的・実効的な組織体制とするためにIGU分科会、IUGS分科会、IUGG分科会、SCOR分科会については24期では分科会として継続設置する一方、小委員会を持たないINQUA分科会、IMA分科会、COSPAR分科会の3分科会を小委員会に移行すること、分科会昇格申請を提出しているICA小委員会を現状維持の小委員会とする決定を行った。小委員会に移行する23期分科会委員長(24期の世話人)、23期ICA小委員会(24期の世話人)に対しては、委員長から決定事項について説明を付して連絡することとした。なお、小委員会にすることによる旅費不支給への配慮・支援をできる限り行うことも合意事項とした。

2 地球惑星科学委員会を第一専門分野としている新規連携会員、第二専門分野とする新規連携会員ならびに23期から24期に継続する連携会員を確認し、連携会員には地球惑星科学委員会および委員会のもとに設置する予定の分科会への招致をメールで行うこととした。新連携会員への連絡を行うためのメールアドレスの確認については藤井委員長に一任した。

3 第24期地球惑星科学委員会方針については久保前委員長の作成した23期の地球惑星科学委員会の申し送り事項を基にして、5課題(①大型研究計画、②22期提言のフォローアップ、③教育・人材育成、④国際活動、⑤JpGUとの関係)について、24期での取り扱いを検討し、5課題が今期も重要な活動方針であることを再確認した。

人材育成に関しては、大学の研究・教育、人材育成などの実態を継続的に把

握するためのアンケート調査を行うことを検討した。地学系学科長専攻長会議で長年行ってきたアンケート活動を、JpGUの教育検討委員会と連携して充実させる。データの整理や解析をベースとして、今後の施策に利用する。学術会議側が積極的にリードする。大久保前委員長、堀連携会員にこれらの活動についても協力依頼することを検討した。

23期の人材育成分科会「記録」に続いて初等中等教育実態を把握すると共にその改善の方向を探る。更に教員養成系学部、理学部での地学教育の教員免許授与のための教育等の実態把握の重要性を確認し、今期も地学教育向上にむけた活動を行うことを検討した。

24期の「提言」作成にむけ、前期を引き継ぎ社会貢献分科会の議論に基づく内容、また、23期に実施した公開シンポジウム『放射性物質の移動の計測と予測—あのと時・いま・これからの安心・安全』に関わる内容等について検討したが、最終的な結論を出さなかった。

4 JpGUユニオンセッションテーマ選定について

10年が経過し状況が変化して来ている夢ロードマップの改定を大型研究計画との関係も含めて再考し、改定を行うためのユニオンセッション提案することとし、コンビナーとしてJPGU会長川幡・副会長田近、日本学術会議会員藤井・春山を選出した。提案書は藤井委員長が作成し、申請(10月12日締切)することとした。

5 今期の地球惑星科学委員会としての大方針について、もしほかに追加等があれば連絡する。

なお、会議時間内に、資料1、資料2、資料5については記載し、藤井委員長が日本学術会議事務局に提出した。

配布資料

資料1 第24期分野別委員会 役員名簿

資料2 第23期委員会等申し送り一覧

資料3 第24期分野別委員会分科会 世話人一覧

資料4 至急設置の分科会の設置提案書および委員会名簿

資料5 連携会員説明会日程案について

資料6 日本学術会議会則第27条第2項の委員会決定(第23期)

資料7 日本学術会議会則第27条第2項

参考資料1 分野別委員会会議室一覧